

やまがた

2009

総合支所だより

(No.12)

春号

採れたてイチゴ
おいしいよ~!!

今号の主な内容

- 平庭高原スキー場まつり…………… p 2~3
- 柗乃花間（現・二十山親方）お髪式… p 4
- おらほの話題…………… p 6~7
- お知らせ…………… p 8



平庭高原スキー場まつり

今年も咲いた 花火と笑顔の大輪

ドドンと

「平庭高原スキー場まつり」は、二月十四日、平庭高原スキー場で行われました。「ケツすべり選手権大会」、「お年玉付きもちまき大会」など盛りだくさんのイベントが行われたほか、短角牛串焼き、豆腐田楽などの出店もズラリ！ 好天にも恵まれたこの日、フイナーレを飾った花火大会まで、大勢の人でにぎわいを見せていました。



「こっちにも投げて〜！」



「お宝ゲットだぜえ〜！」



夜空とゲレンデを照らした400発の大輪



目指せホールインワン！（雪上パークゴルフ大会）



もちまき大会にはたくさんの子どもたちが参加



さすが平庭のお膝元！
来内っ子たちはホール
インを連発していました



まつりムードを盛り上げた山形
小・仲町東通子供会の大黒舞



心も体もあたたまるJA短
角牛肥育部会特製のべご汁



モー！
最高の味



迫力満点！恒例のケッツすべり選手権大会



ずりり並んだ出店も
まつりの楽しみです



「お宝どこだ〜」。雪に埋まった宝を真
剣に探す子どもたち（宝さがし大会）

万感の思い込め、大銀杏に別れ

昨年の初場所（一月）で土俵生活に別れを告げた山形町出身の元栃乃花関（現二十山親方、以下栃乃花）が、一月三十日、東京の両国国技館で断髪式に臨みました。

盟友の栃栄関（現・竹縄親方）とともに土俵に上がった栃乃花関。歴代後援会長をはじめ、約三百人から次々と大銀杏にはさみを入れられ、最後は瞳を潤ませながら春日野親方の止めばさみを受け入れました。挫折と栄光を繰り返



「お疲れさんだったな」、「今までありがとう」一。父・谷地忠一さん（荷軽部）がはさみを入れたその瞬間、言葉はなくとも無限の会話が広がっていました

した日々を改めて別れを告げた栃乃花関に、駆けつけた山形町の関係者、ファンからも、「ありがとう」の大声援が飛んでいました。常に地元ファンを大切に続けてくれた栃乃花関らしく、その夜行われた後援会主催の慰労会でも「これまでの応援に感謝します。今後またたびたび地元に戻るの、よろしく願います」の言葉。最後までファンへの感謝を忘れずにいました。現在、年寄「二十山」とな



朝青龍関もはなむけのはさみ



会場には「ありがとう」の横断幕

っている栃乃花関は、今後も相撲界に身を置き、親方として後進の指導に当たっていきます。現役時代、常に逆境に打ち勝ってきた精神力と真つ直ぐさがあれば、第二の人生でもきつと栄光をつかんでくれることでしょう。その原動力になるのは、現役時代と同様、私たちが送る声援なのかもしれません。

市内外から300人が来場 神秘の光景に感嘆の声

内間木洞氷筍観察会

「内間木洞氷筍観察会」（山形県民館主催）は、二月十一日に同所で行われました。

毎年この季節だけに見られる氷筍ですが、今年は、気温が高めであることから例年より若干小ぶり。高いもので一・五メートルほどでしたが、内間木洞への注目が年々高まっているとあって、市内外から約三百人の皆さんが来場しました。



ところどころにコウモリの姿も



自治会も特産品販売で地域をアピールしました



例年に比べやや小ぶりながらその光景には感嘆の声が上がっていました

洞くつ入り口近くでは、小国自治会（二橋修会長）の皆さんが、豆腐田楽、イワナの塩焼き、うきうき団子などの特産品を販売。訪れた人たちは、自然が織りなす神秘の光景とともに、地域特産の味を満喫していました。

フレッシュさん 出番で〜す



趣味の読書は筋金入り

ゆうむかい
夕向ひとみさん (繫)

- 自分の性格を一言で社会的でよくすべる(笑)。
- 趣味は読書と映画鑑賞。最近読んだ本は「トワイライト」。好きな本なら1日で1冊読み切るので、本の置き場に困っています。映画は、少し古いですが、先日「猟奇的な彼女」をDVDで見ました。
- 好きな男性のタイプは一緒にいておもしろい人がいいですね。結婚は25歳までに。
- 最後に一言 過疎化に負けず、頑張りましょう！

プロフィール

□生年月日 昭和62年11月19日 (21歳)
□血液型 B型
□勤務先 ㈱嵯峨商店



「今年もこんなに集めたぞ！」山盛りのアルミ缶に満足げな子どもたち

今年も山盛り みんなの頑張り

霜畑小学校のアルミ缶集め

霜畑小学校(嵯峨佐千夫校長)では、児童会が行う環境保護活動の一環として、「アルミ缶集め」に一年を通して取り組んでおり、毎年この時期、集めたアルミ缶を回収業者に引き渡しています。

今年の引き渡しは二月十日に行われ、アルミ缶が入ったごみ袋を業者のトラックに積み込みました。長年続けている活動だけに、子どもたちは手際よく作業を進め、トラックの荷台は、みるみるうちに山盛りになりました。後日、業者から知らされたアルミ缶

の回収量は、四百九十キロ。昨年(四百五十キロ)を上回る成果を上げました。

作業を終えた久保歩さんと清水川美幸さん(共に六年)は、「缶をつぶすのが大変だったけど、頑張った成果が出てうれしいです」と笑顔で業者のトラックを見送っていました。



積み込みもスムーズに行っていました

バチリ!



山形っ子も大勢入賞! 吹いたのはホラ? いえいえ「夢」です

「やませ大ボラ吹き大会」(同実行委員会主催)が、2月1日、あらほーるで開かれ、出演者が夢とユーモアあふれる“大ボラ”を披露し、会場を沸かせました。大会には、17人・団体が出場。山形町内から出場した児童、生徒たちはすべて入賞し、初の地元開催で、会場を大いに盛り上げました。



繫小の児童たちは繫にある資源を生かした地域の活性化案を提案しました



首都を久慈に移転した小田春恵さん(久慈高山形校2年)

大ボラ大賞 市長特別賞



埋蔵金を活用してのレジャーランド建設や買い物券の支給、それに税金の廃止を宣言した下詔聖地君(久慈高山形校2年)が大賞をGET!



山形をお笑いの町にしてしまった山形中の男子生徒たち



山形中の女子生徒たちは「毎日がクリスマスだったら」というかわいらしい夢を披露

小

山形小学校・ふれあい山形の小正月
正月をミズキ飾りや芸能で祝う



ミズキ飾りを作る山形小の子どもたち



「じょうす」を調理する参加者の皆さん

う

男の食いしん坊道場
まい！そして懐かしい！

町内の男性を中心とした料理教室「男の食いしん坊道場」(山形公民館主催)が、一月十六日、おらほーる創作工房で行われました。

この日挑戦した料理は、昔懐かしい「じょうす」(雑炊)、「ほすな汁」(干し菜汁)、「ほどもち」の三品です。町内外から約二十人の皆さんが参加しました。参加者の皆さんは、

講師を務めたまめぶの家代表の谷地ユワノさん(荷軽部)の手ほどきを受けながら、手際よく調理を進めていきました。

最後は、全員で会食。ほすな汁の中には「そば切り」(そばの練り物)も入っており、参加者の一人、下畑郁子さん(霜畑)は、「そばが入っているのは初めて。場所によって入れるものが違うんですね」と感心しながら、懐かしの料理をおいしそうに試食していました。



ついた米も子どもたち自身で育てたもの

山形小学校(安藤歳勝校長)の恒例行事「ふれあい山形の

小正月」が、一月十一日、老人福祉センターで行われました。

今年で二十四回目を迎えるこの行事。小正月を地域のみんで祝おうと毎年開催されています。ミズキ飾りやもちつきを楽しんだほか、各子ども会や地域団体の芸能発表も行われ、大勢で冬の一日を楽しみました。

最後はつきたてのおもちに舌鼓。細井勤也君(四年)は、「発表も楽しかったし、もちもおいしかった」と笑顔を見せていました。



親子で太鼓や踊りなどの芸能を発表

今年も魅せた、感動舞台

市民おらほーる劇場の第2回公演「内間木モグラーズ」は、12月21日、おらほーるで行われました。内間木洞を舞台としたドタバタ劇に、約450人の観客から大きな笑いが巻き起こっていました。



山形町の子どもたちも大勢出演

「火祭り」で1年の安全を祈願

荷軽部では、一部の班で、新年に「火祭り」という行事を行い、その年の安全を祈願しています。古くから伝わるこの風習。写真の5班（上組）では、1月3日に荒谷建蔵さん宅で行い、御神酒（おみき）を上げたり、神棚に供えた「生のすつとぎ」を食べたりして、互いの健康と安全を祈りました。



御神酒で乾杯し1年の健康と安全を祈願

卵が卵を産んだ!?

ちょっとおもしろい話題を。2月8日、戸呂町の岡堀地区に住む中下ハツ子さんが、朝食でご飯に卵をかけて食べようとしたところ、なんと卵の中からまた直径3cmほどの小さな卵が出現! 「食べられなくなりました」と苦笑いの中下さんでした。

皆さんも、日常のちょっとした話題をお寄せくださいね。



ちなみに小さい卵の中身は白身だけでした

びっくり卵に苦笑いの中下さん



霜畑地区で大人気の巨大雪だるま

霜

畑に巨大雪だるま出現

川原且男さんが製作

この冬、霜畑に現れた巨大な雪だるまが、道行く人々の心を和ませています。

この巨大雪だるまは、川原且男さんが自宅わきに作ったものです。年明け以降、度重なる大雪に見舞われ雪を捨てる場所がなくなつたことから、「ならば雪だるまにしてしまおう」と作られました。最初作つたのは一月十日の大雪の後。大きさも今よりやや小さめでしたが、雪が降るたびに川原さんの手が入り、今では約三メートルという高さ。奥さんのマエ子さんが

日

野沢地区芸能発表会

「日野沢地区芸能発表会」（同地区民俗芸能保存会、日野沢自治会主催）が、一月二十五日、日野沢公民館で開催されました。

今年も地区内の子どもからお年寄りまで大勢の人が出演し、歌や踊りなど十六の演目が披露されました。客席から拍手を送っていた

です。日野沢では、一時期、休止したこともあるそうですが、この二十年ほどは継続して開催しています。

作つた目や口もかわいらしく飾り付けられているほか、くり抜かれたおなかの中には、小さな子ども雪だるま三体がちよこんと置かれています。遊び心満載のこの雪だるま

は、今やすっかり地域の人気者です。大雪には少しうんざりですが、川原さんのような遊び心があれば、冬でも「あつたかく」過ごせるかもしれませぬ。

内久保光行さんは、「去年来られなかつたので楽しみにしてきた。みんな上手だ」と、芸達者たちの頑張りをたたええていました。



日野沢地区の子どもたちも元気な踊りを披露



山形のカレンダー 3月

月	日	曜	行事
3	1	日	一般家庭、独居老人家庭予防査察（火防点検）
	8	日	山形地区フットサル大会
	13	金	霜畑中学校卒業式
	14	土	山形中学校卒業式
	19	木	町内小学校卒業式（霜畑小は3月14日）
	21	土	霜畑中学校閉校記念式典
	24	火	かわいい児童館、戸呂町・荷軽部保育園卒園式
	25	水	霜畑児童館、来内保育園卒園式

62年の歴史に幕— ※日程は変更になる場合もあります

霜畑中学校閉校記念式典

日時 3月21日(土) 午前10時～

会場 同校

今年度末をもって閉校する霜畑中学校の閉校記念式典が、上の日時で行われます。また、終了後は卒業生と地区民などを対象とした「惜別の会」も行われます。



詳しくは、同校(☎75-2002)までどうぞ。

お知らせ

予約受付中です！山形村誌第一巻「民俗編」

市では、「山形村誌第一巻『民俗編』」を4月1日から頒布開始する予定です。これに先立ち、現在、頒布予約を受付中です。

お申し込みいただいた方には、頒布開始日以降に、直接ご自宅へ送付させていただきます。皆さん、ぜひお申し込みください。

■本の内容 昭和30年代までの「村人の暮らしぶり」を中心にまとめ上げました。当時の暮らしぶりが分かる写真が

満載です。

■申込締切 3月31日

■頒布価格 3千円

■申込方法 予約申込書（2月初めに全戸配布済み）に必要事項をご記入の上、山形総合支所ふるさと振興課までお申し込みください。※予約申込書は山形総合支所にも備えてあります。

地域コミュニティ振興事業補助金のご活用を

市では、皆さんが行う地域づくり活動に対して「地域コ



山形町民必見!!

ミュニティ振興事業補助金」を交付しています。

■対象事業

▽地域の一体感醸成など地域振興を目的とする事業▽歴史、文化、伝統芸能を継承、保存するための事業▽自然環境の保全、活用を目的とする事業▽地域で活動する人材を育成するための事業▽その他市長が認める事業

■補助率（限度額）

▽ハード 三分の二（百万円）
▽ソフト 四分の三（同）

■問い合わせ

詳しくは、山形総合支所ふるさと振興課（☎72-211内線109）までどうぞ。

4月1日から

施設の使用料などが変わります

市では、このたび各施設の使用料・利用料の見直しを行い、山形町内の施設についても4月1日から改正します。市が直接管理運営する施設で、使用料を改正するのは次のとおりです。お問い合わせは各担当課へどうぞ。

▽山形総合センター 担当課Ⅱふるさと振興課（☎72-2111内線108）▽おらほーる（山形公民館、山村文

化交流センター）担当課Ⅱ 教育振興室（☎72-3711）または社会文化課（☎52-2700）▽内間木ビクターセンター 担当課Ⅱ 産業建設課（☎72-2111内線132）

このほか、指定管理施設についても4月1日から利用料が変更となります。料金表は、各施設に掲示しますのでそちらをご覧ください。

表紙の写真

採れたてイチゴおいしいよ～!!

町内の児童館、保育園に通う園児約60人が、2月20日、(有)高屋敷建設が経営するハウスで、イチゴ狩りを体験しました。子どもたちは歓声を上げながら、次々とイチゴをほおばっていました。



編集後記

▽山形村誌第1巻がいよいよ発行されます。「民俗編」ということで、昭和30年ごろまでの「暮らし」にしほってまとめられています。ある程度のお年の方（失礼!）には「懐かしさ」を、私と同世代ぐらいの方には「新しい発見」を感じさせる内容です。ご家庭にぜひ1冊どうぞ！（木地谷）

火の始末 君がしなくて 誰がする

春季火災予防運動

3月1日～7日

各家庭の予防査察（火防点検）、防火パレードは3月1日です。

●防火座談会、救急講習会

日時 3月1日(日) 午後1時
場所 来内地区集落センター

「やまがた総合支所だより」は年4回発行。次回は6月ごろの予定です。

発行・岩手県久慈市 編集・山形総合支所ふるさと振興課（☎028-8602 久慈市山形町川井8-30-1 ☎72-2111①109）